

# 製品の特長 積極的にPR

清水合金製作所

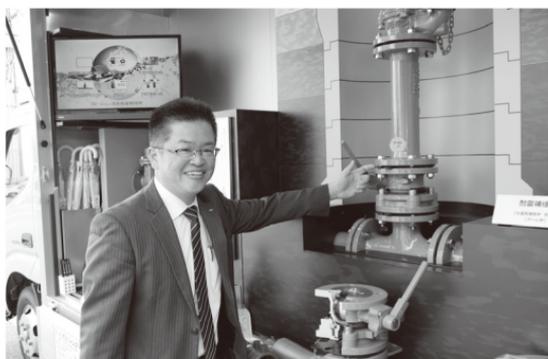
## 新デモ車両がデビュー



作動デモ機やカットモデルで製品の理解を直感的に

清水合金製作所は11月26日、滋賀県彦根市の同社敷地内で、社員を対象とした新デモンストレーション車両のお披露目会を開催した。小型浄水装置「アクアシリーズ」な

どが搭載された従来車両に加え、新車両には耐震シリーズのバルブをはじめ、同社オリジナルの新製品を搭載。全国の水道事業者やコンサルタントなどを対象に、2台体制



耐震補修弁などの拡販へ意気込む山村所長

で積極的にPRする。新デモンストレーション車両は2トントラックをベースに改造した。伸縮可とう構造を一体化した「耐震補修弁」や、多様なフランジに対応できる「マルチカスケット」、接合時の芯出しが容易な「可とう式ポリパイソ

ン」などの新製品を展示。従来車両にはアクアシリーズやマークリング型緊急遮断弁、減圧弁などを搭載し、両車両とも先方の希望に応じ積み替える。



青木課長が社員にデモのポイントを説明

「デモ車による営業経験が豊富な青木伸行・環境事業部特殊弁・物件営業課長は、工夫を盛り込んだ点について「製品のカットモデルや設置状況を再現した作動デモ機を用意し、構造や機能を直感的に理解できるように意識しました。前面スピーカーを積んだテレビモニターで概要説明を行うため、どの位置に立っても

聴きやすいですし、準備作業に時間を要することがないように、簡単にセッティングできるようにしました」と説明。

耐震補修弁の拡販タスクフォースのリーダーを務める山村和義・名古屋営業所長は、「当社はお客様のニーズを的確に反映した製品開発に力を入れており、過去3年以内に新開発または改良した製品が売上高に占める割合は近年、目標の30%を超えています。製品のラインアップが充実する中で従来のデモ車は手狭となり、新たな車両を追加しました。1人でも多くの方が当社のオリジナル製品を知り、使って頂けるきっかけにしたい」と意気込みを語った。